

施設カルテ

施設番号 2190 基準日 2016/04/01 出力日 2017/03/02

施設基本情報

施設名	西高崎ふれあいプラザ		
所在地(住所)	南区西高崎0045-040-00		
所管局区室課	保健福祉局高齢者福祉課		
FM大分類	医療・福祉施設	FM中分類	高齢者福祉施設
財産中分類	公共用財産	地区	灘崎(本庁管轄区域)
財産小分類	その他の公共用財産	財産細分類	福祉センター
中学校区	灘崎中学校	小学校区	灘崎小学校
複合化状況	無	防災上必要な施設	指定なし
管理運営	指定管理	延床面積	194.94 m ²
目的外使用	無	建築面積	194.94 m ²
土地所有状況	—	敷地面積	1,186.68 m ²



施設概要
介護予防施設／大・小ホール、和室、調理室、監理室

設置目的
高齢者の心身の健康を増進し、生きがい活動を推進することにより、介護が必要な状態を予防し、又は改善する。

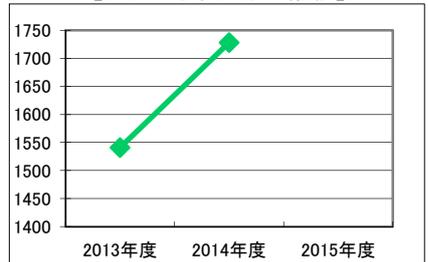
設置根拠
岡山市ふれあいプラザ条例

用途地域	—	法定容積率	100 %	法定建蔽率	50 %		
用途地域以外の指定地域	—	全棟数	1 棟	駐車台数	— 台		
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	自然エネルギー・太陽光	×	ハザードマップ指定	洪水時の浸水深	0.5~1.0m未滿
	災害用備蓄の有無	×	屋上緑化・壁面緑化	×	ハザードマップ指定	津波時の浸水深	1.0~2.0m未滿
	冷暖房設備	○	設備(電気)	×	ハザードマップ指定	地震・危険度	建物全壊率が5~7%の地域
	通信設備	×	設備(雨水・中水)	×	ハザードマップ指定	地震・揺れやすさ	震度6弱の地域
	調理設備	○	その他省エネ	×	ハザードマップ指定	地震・液状化危険度	低い
	入浴設備	×	分煙対策	屋外喫煙	ハザードマップ指定	土砂災害計画区域等	指定なし
	代替電源設備	—	アスベストの使用	無	ハザードマップ指定	開設年月日	2010/04/01
					ハザードマップ指定	供用廃止日	—
					ハザードマップ指定		
					ハザードマップ指定		

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日	240	240		
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人	1,541	1,728		★
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					

(人) 【グラフ対象区分の推移】



凡例 ●—● 利用者数(人)

《注記》

★グラフ対象指標区分

※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。

[利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2016/04/01

施設基本情報

施設番号 2190 施設名 西高崎ふれあいプラザ

財務情報

●歳出

区 分		(千円)			
		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		277	361	288	
内 需用費	消耗品費	7	6	9	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	169	171	174
		ガス	18	18	20
		水道	30	32	32
	修繕費	-	79	-	
外 訳	役員費	-	-	-	
	委託料	53	55	55	
	使用料及び賃借料	-	-	-	
	備品購入費	-	-	-	
	その他経費	-	1	-	

●運営人員数(人)

常勤	-	-	-
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

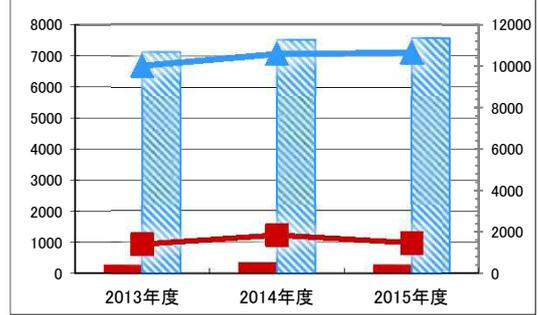
●歳入

区 分		(千円)			
		2013年度	2014年度	2015年度	
歳入合計		92	124	167	
内 訳	指定管理	利用料金(使用料)	73	77	85
		目的外使用料	-	-	-
		その他	19	47	82
	直営	使用料及び手数料	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-	

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

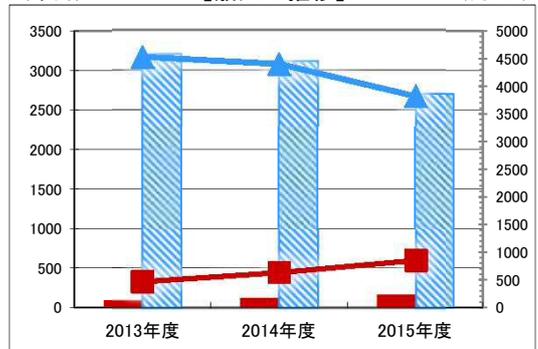
施設分類	高齢者福祉施設	総施設数	28
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	277 第25位	1,420	第23位
2014年度	361 第25位	1,850	第22位
2015年度	288 第24位	1,479	第24位

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

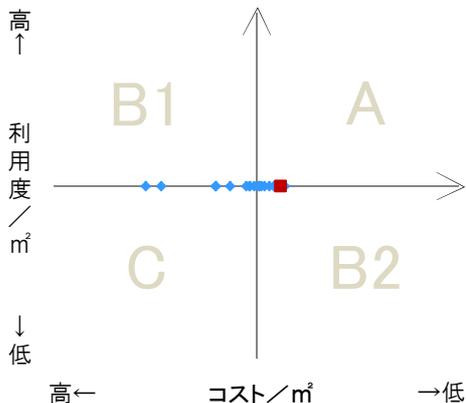
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■... 当該施設 ◆... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

施設番号 2376 基準日 2016/04/01 出力日 2017/03/02

施設基本情報

施設名	浮田ふれあいプラザ			
所在地(住所)	東区沼1193-003-00			
所管局区室課	保健福祉局高齢者福祉課			
FM大分類	医療・福祉施設	FM中分類	高齢者福祉施設	
財産中分類	公共用財産	地区	西大寺(本庁管轄区域)	
財産小分類	その他の公共用財産	財産細分類	老人福祉施設	
中学校区	上道中学校	小学校区	浮田小学校	
複合化状況	無	防災上必要な施設	指定なし	
管理運営	指定管理	延床面積	246.96 m ²	
目的外使用	無	建築面積	246.96 m ²	
土地所有状況	—	敷地面積	— m ²	

施設概要 介護予防施設／大ホール、和室

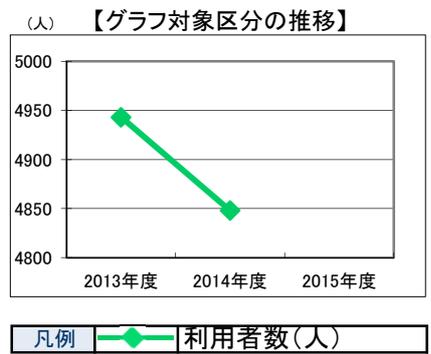
設置目的 高齢者の心身の健康を増進し、生きがい活動を推進することにより、介護が必要な状態を予防し、又は改善する

設置根拠 岡山市ふれあいプラザ条例

用途地域	—	法定容積率	200 %	法定建蔽率	60 %						
用途地域以外の指定地域	—	全棟数	1 棟	駐車台数	0 台						
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮	出入口	○	ハザードマップ指定	洪水時の浸水深	1.0~2.0m未満			
	災害用備蓄の有無	×		廊下等	○	津波時の浸水深	指定なし	地震・危険度	—		
	冷暖房設備	○		階段	—	地震・揺れやすさ	震度6弱の地域	地震・液状化危険度	高い		
	通信設備	×		昇降機	—	便所	○	土砂災害計画区域等	指定なし		
	調理設備	○		その他省エネ	×	駐車場	—	開設年月日	2002/03/01	供用廃止日	—
	入浴設備	×		分煙対策	屋外喫煙	—	—	—	—	—	
	代替電源設備	—		アスベストの使用	無	—	—	—	—	—	
	—	—		—	—	—	—	—	—	—	

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日	240	240		
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人	4,943	4,848		★
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					



《注記》
 ★グラフ対象指標区分
 ※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
 [利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2016/04/01

施設基本情報

施設番号 2376 施設名 浮田ふれあいプラザ

財務情報

●歳出

区 分		(千円)			
		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		307	437	256	
内 需用費	消耗品費	8	51	37	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	207	217	211
		ガス	8	8	8
		水道	0	0	0
	修繕費	40	161	-	
外 訳	役員費	44	-	-	
	委託料	-	-	-	
	使用料及び賃借料	-	-	-	
	備品購入費	-	-	-	
	その他経費	-	-	-	

●運営人員数(人)

常勤	-	-	-
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

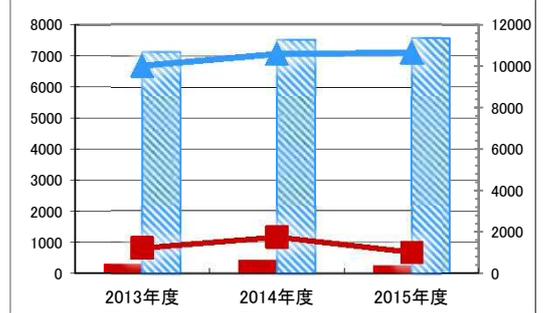
●歳入

区 分		(千円)		
		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		48	43	62
内 指定管理	利用料金(使用料)	19	24	30
	目的外使用料	-	-	-
	その他	29	19	32
	直営	-	-	-
外 訳	使用料及び手数料	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

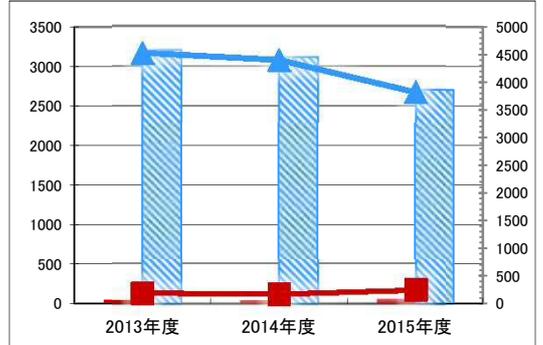
施設分類	高齢者福祉施設	総施設数	28
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	307 第24位	1,241	第26位
2014年度	437 第24位	1,769	第23位
2015年度	256 第25位	1,036	第27位

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

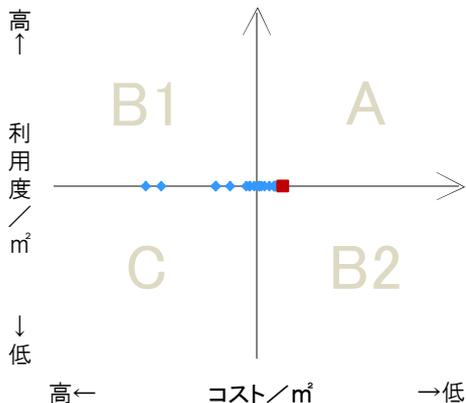
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■... 当該施設 ◆... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

施設番号 2377 基準日 2016/04/01 出力日 2017/03/02

施設基本情報

施設名	古都ふれあいプラザ		
所在地(住所)	東区突甘0513-000-00		
所管局区室課	保健福祉局高齢者福祉課		
FM大分類	医療・福祉施設	FM中分類	高齢者福祉施設
財産中分類	公共用財産	地区	西大寺(本庁管轄区域)
財産小分類	その他の公共用財産	財産細分類	老人福祉施設
中学校区	旭東中学校	小学校区	古都小学校
複合化状況	無	防災上必要な施設	指定なし
管理運営	指定管理	延床面積	99.50 m ²
目的外使用	無	建築面積	99.50 m ²
土地所有状況	—	敷地面積	497.00 m ²



施設概要 介護予防施設／ホール1

設置目的 高齢者の心身の健康を増進し、生きがい活動を推進することにより、介護が必要な状態を予防し、又は改善する

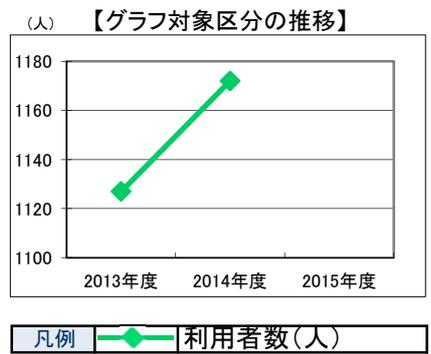
設置根拠 岡山市ふれあいプラザ条例

用途地域	—	法定容積率	200 %	法定建蔽率	60 %
用途地域以外の指定地域	—	全棟数	1 棟	駐車台数	— 台

設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮	自然エネルギー・太陽光	×	バリアフリー化	出入口	—	ハザードマップ指定	洪水時の浸水深	指定なし	
	災害用備蓄の有無	×		屋上緑化・壁面緑化	×		廊下等	—		津波時の浸水深	指定なし	
	冷暖房設備	○		設備(電気)	×		階段	—		地震・危険度	—	
	通信設備	×		設備(雨水・中水)	×		昇降機	—		地震・揺れやすさ	震度6弱の地域	
	調理設備	×		その他省エネ	×		便所	—		地震・液状化危険度	低い	
	入浴設備	×		分煙対策	屋外喫煙		—	駐車場		—	土砂災害計画区域等	特別警戒区域(急傾斜)
	代替電源設備	—		アスベストの使用	無		開設年月日	2003/03/01		供用廃止日	—	

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日	240	240		
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人	1,127	1,172		★
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					



《注記》
 ★グラフ対象指標区分
 ※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
 [利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2016/04/01

施設基本情報

施設番号 2377 施設名 古都ふれあいプラザ

財務情報

●歳出

区 分		(千円)			
		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		218	229	171	
内 需用費	消耗品費	1	3	2	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	電気	光熱水費	133	137	136
		ガス	0	0	0
		水道	0	0	0
	修繕費	-	-	-	
外 訳	役員費	27	62	-	
	委託料	-	-	-	
	使用料及び賃借料	7	5	5	
	備品購入費	34	-	-	
	その他経費	17	22	28	

●運営人員数(人)

常勤	-	-	-
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

●歳入

区 分		(千円)		
		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		296	234	0
内 指定管理	利用料金(使用料)	113	79	-
	目的外使用料	-	-	-
	その他	183	155	-
	直営	-	-	-
外 訳	使用料及び手数料	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

施設分類	高齢者福祉施設	総施設数	28
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	218 第26位	2,190	第20位
2014年度	229 第26位	2,303	第18位
2015年度	171 第26位	1,717	第22位

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

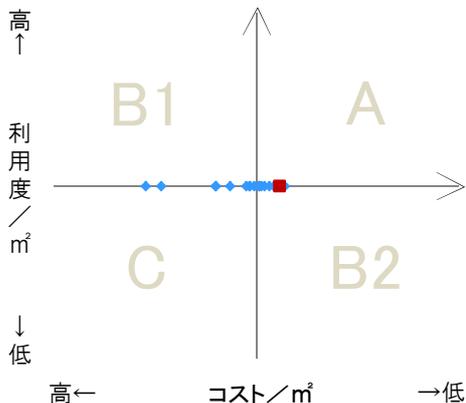
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■... 当該施設 ◆... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

施設番号 2378 基準日 2016/04/01 出力日 2017/03/02

施設基本情報

施設名	吉井川ふれあいプラザ		
所在地(住所)	東区西大寺浜0338-000-00		
所管局区室課	保健福祉局高齢者福祉課		
FM大分類	医療・福祉施設	FM中分類	高齢者福祉施設
財産中分類	公共用財産	地区	西大寺(本庁管轄区域)
財産小分類	その他の公共用財産	財産細分類	老人福祉施設
中学校区	西大寺中学校	小学校区	豊小学校
複合化状況	無	防災上必要な施設	指定なし
管理運営	指定管理	延床面積	112.03 m ²
目的外使用	無	建築面積	112.03 m ²
土地所有状況	—	敷地面積	499.00 m ²



施設概要 介護予防施設／多目的室、和室

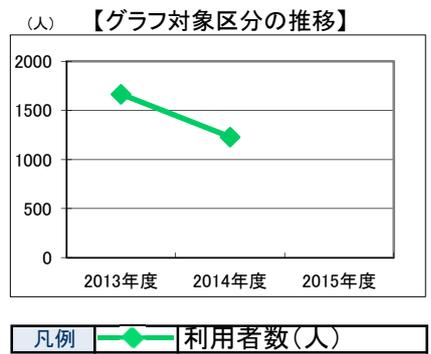
設置目的 高齢者の心身の健康を増進し、生きがい活動を推進することにより、介護が必要な状態を予防し、又は改善する。

設置根拠 岡山市ふれあいプラザ条例

用途地域	第一種住居地域	法定容積率	200 %	法定建蔽率	60 %				
用途地域以外の指定地域	—	全棟数	1 棟	駐車台数	— 台				
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮 自然エネルギー・太陽光 屋上緑化・壁面緑化 設備(電気) 設備(雨水・中水) その他省エネ 分煙対策 屋外喫煙 アスベストの使用	出入口	—	ハザードマップ指定	洪水時の浸水深	指定なし	
	災害用備蓄の有無	×		廊下等	—	津波時の浸水深	指定なし	地震・危険度	—
	冷暖房設備	○		階段	—	昇降機	—	地震・揺れやすさ	震度6弱の地域
	通信設備	×		便所	○	便所	○	地震・液状化危険度	きわめて高い
	調理設備	×		駐車場	—	開設年月日	2003/03/01	土砂災害計画区域等	指定なし
	入浴設備	×		無	—	供用廃止日	—	—	—
	代替電源設備	—		無	—	—	—	—	—

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日	240	240		
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人	1,664	1,228		★
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					



《注記》
 ★グラフ対象指標区分
 ※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
 [利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2016/04/01

施設基本情報

施設番号 2378 施設名 吉井川ふれあいプラザ

財務情報

●歳出

区 分		(千円)		
		2013年度	2014年度	2015年度
歳出合計		136	128	137
内 需用費	消耗品費	22	12	28
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0
	電気	43	39	39
	光熱水費	0	0	0
	水道	13	18	13
修繕費	-	-	-	
外	役員費	-	-	-
外	委託料	52	53	53
外	使用料及び賃借料	-	-	-
外	備品購入費	-	-	-
外	その他経費	6	6	4

●運営人員数(人)

常勤	-	-	-
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

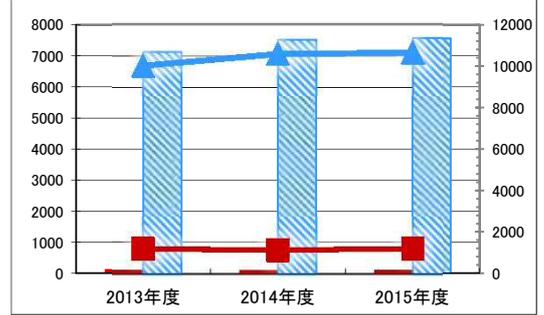
●歳入

区 分		(千円)		
		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		45	35	44
内 指定管理	利用料金(使用料)	32	30	38
	目的外使用料	-	-	-
	その他	13	5	6
外 直営	使用料及び手数料	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

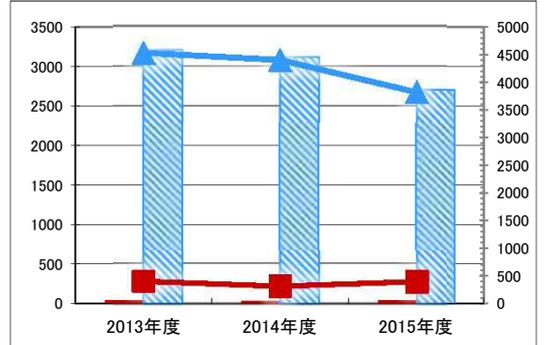
施設分類	高齢者福祉施設	総施設数	28
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	136	第27位	1,213
2014年度	128	第27位	1,146
2015年度	137	第27位	1,227

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

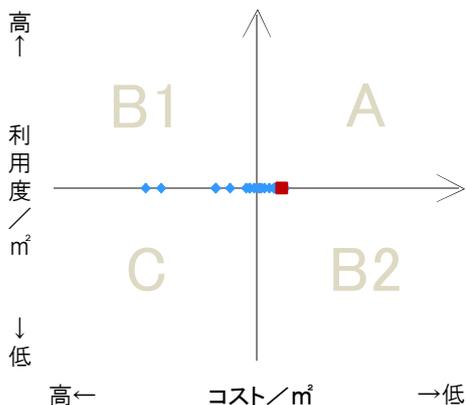
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■... 当該施設 ◆... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

施設番号 2379 基準日 2016/04/01 出力日 2017/03/02

施設基本情報

施設名	植松老人ふれあいプラザ			
所在地(住所)	南区植松0398-002-00			
所管局区室課	保健福祉局高齢者福祉課			
FM大分類	医療・福祉施設	FM中分類	高齢者福祉施設	
財産中分類	公共用財産	地区	灘崎(本庁管轄区域)	
財産小分類	その他の公共用財産	財産細分類	老人福祉施設	
中学校区	灘崎中学校	小学校区	彦崎小学校	
複合化状況	無	防災上必要な施設	指定なし	
管理運営	指定管理	延床面積	497.95 m ²	
目的外使用	無	建築面積	497.95 m ²	
土地所有状況	—	敷地面積	2,176.00 m ²	

施設概要
介護予防施設／和室、機能訓練室、食堂

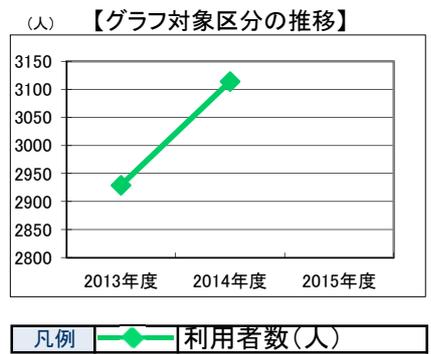
設置目的
高齢者の心身の健康を増進し、生きがい活動を推進することにより、介護が必要な状態を予防し、又は改善する。

設置根拠
岡山市ふれあいプラザ条例

用途地域	第一種住居地域	法定容積率	200 %	法定建蔽率	60 %
用途地域以外の指定地域	—	全棟数	1 棟	駐車台数	0 台
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	バリアフリー化	出入口	○
	災害用備蓄の有無	×		廊下等	○
	冷暖房設備	○		階段	—
	通信設備	×		昇降機	—
	調理設備	○		便所	○
	入浴設備	×		駐車場	×
	代替電源設備	—		開設年月日	2004/03/01
				洪水時の浸水深	指定なし
				津波時の浸水深	指定なし
				地震・危険度	—
		地震・揺れやすさ	震度6弱の地域		
		地震・液状化危険度	きわめて高い		
		土砂災害計画区域等	指定なし		

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日	240	240		
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人	2,929	3,114		★
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					



《注記》
★グラフ対象指標区分
※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
[利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2016/04/01

施設基本情報

施設番号	2379	施設名	植松老人ふれあいプラザ
------	------	-----	-------------

財務情報

区 分		(千円)			
		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		731	694	850	
内 需用費	消耗品費	36	36	65	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	電気	電気	293	302	293
		光熱水費	19	19	20
		水道	111	111	113
		修繕費	98	52	232
外	役員費	-	-	-	
外	委託料	53	55	55	
外	使用料及び賃借料	72	72	72	
外	備品購入費	-	28	-	
外	その他経費	50	18	-	

●運営人員数(人)

常勤	-	-	-
非常勤	-	-	-

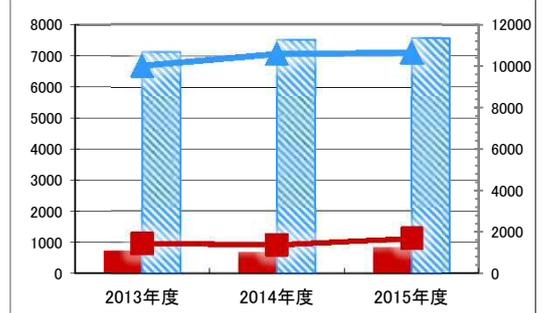
※運営人員数の人件費は理論値です。

区 分		(千円)		
		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		27	23	23
内 指定管理	利用料金(使用料)	-	-	-
	目的外使用料	7	7	7
	その他	19	15	16
	直営	-	-	-
外	使用料及び手数料	-	-	-
外	目的外使用料	-	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

施設分類	高齢者福祉施設	総施設数	28
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	731 第18位	1,468	第22位
2014年度	694 第19位	1,393	第25位
2015年度	850 第15位	1,707	第23位

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡	当該施設	総額(千円)	延床面積あたり(円/㎡)
例	分類平均	総額(千円)	延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡	当該施設	総額(千円)	延床面積あたり(円/㎡)
例	分類平均	総額(千円)	延床面積あたり(円/㎡)

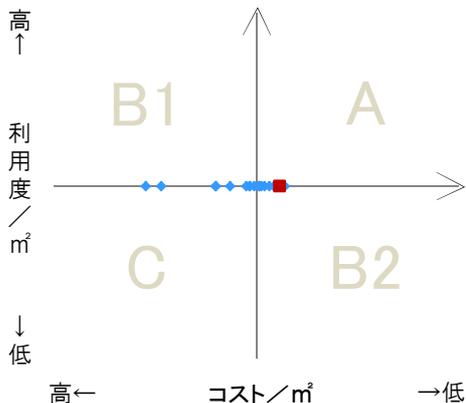
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



- ・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
- ・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■... 当該施設 ◆... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

